

平成28年度スローガン

笑心(えみ)
~いつも笑顔で
感謝の気持ち~



発行 秦野市PTA連絡協議会
編集 秦野市PTA連絡協議会
情報委員会
事務局 秦野市立本町中学校
秦野市富士見町1-1
TEL 81-0342
印刷 (有)みうら印刷

平成28年度
会員研修会

笑顔のためにできること

第1・2分科会 学校・PTA・地域のかかわり方について
第3・4分科会 魅力あるPTA活動とは
第5・6分科会 子どもたちを取り巻くインターネット環境

スマホのルール

秦野市PTA連絡協議会(以下市P連と省略)主催の会員研修会が、6月23日(木)に秦野市文化会館で開催されました。市内小・中学校の参加者190名が、それぞれのテーマに沿って6分科会に分かれました。今後のPTA活動に活かそうと、積極的な意見交換が行われました。

◆第5分科会 小学校
スマホを持たせている保護者は、フィルタリングや、事前にルールを作るなどの対策をとっているようです。意見の中で多かったものは、スマホを自宅に持ち込ませず、リビングで使用させるなどでした。さらに、どのようなトラブルに巻き込まれるかについて、よく話し合っている家庭もありました。

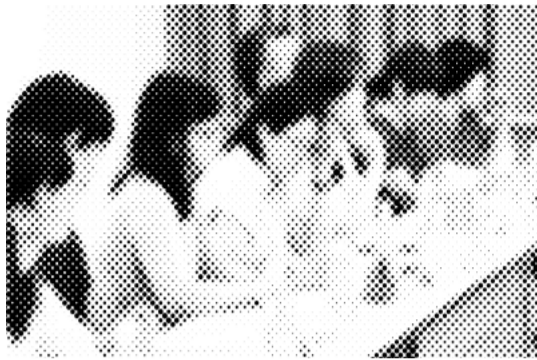
◆第6分科会 中学校
「学校単位ではなく、保護者としての意見を聞きたい」との司会者の言葉で始まりました。中学生になると、スマホの所持率は大幅に上がります。持たせるにあたり、あらかじめルールを決めている家庭が多いようです。しかし時がたつにつれ、子どもとの認識にズレが生じてきます。その差が大きくなった時に問題が起こりやすくなる傾向にあるようです。

◆第1分科会 小学校
バザーや資源回収での収益金は、子どもたちに還元したり、備品購入や義援金にあてる学校が多くみられました。バザーでは、子どもが楽しめて、さらに収益も得るために、価格や内容を工夫しています。

◆第3分科会 小学校
3グループに分かれて各校のPTA活動の現状について、情報や意見の交換をしました。

◆第4分科会 中学校
各校の取り組みについて、話し合いが行われました。各種委員会を置かず、学年委員の中で分担して活動を行ったり、委員以外にサポート隊を置いている学校などがありました。

◆第2分科会 中学校
各校のイベントの中で、地域の方が講師になり、万華鏡作り・そば打ちなどではないでしょうか。まずは自分から、小さくても些細なことでも、できることから始めてみましょう。

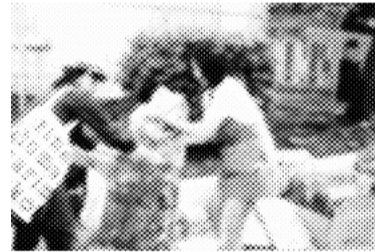


子どものために熱心な意見交換

子どもを守るため、親も子ども以上に操作機能を学ぶ必要があり、また、親子でルール作りをする、子どもをトラブ

資源回収では、自治会の回収板や掲示板で、お願いをする学校もありました。戸別回収をしている学校では、収益のプラスにつなげています。

◆第2分科会 中学校
各校のイベントの中で、地域の方が講師になり、万華鏡作り・そば打ちなどではないでしょうか。まずは自分から、小さくても些細なことでも、できることから始めてみましょう。



汗をかきかきがんばります

ど、普段はなかなか体験できない事を教えていただいています。資源回収は、戸別回収をする事により、地域の方が資源を出しやすくなり、驚くほどの収益をあげています。一方で収益が減っている学校では子どもへの還元が難しいという話も出ました。

◆第4分科会 中学校
各校の取り組みについて、話し合いが行われました。各種委員会を置かず、学年委員の中で分担して活動を行ったり、委員以外にサポート隊を置いている学校などがありました。

市P連主催の広報技術講習会が平成28年5月13日(金)秦野市文化会館小ホールにて開催されました。今年も全国小・中学校PTA新聞コンクール審査員である武勝美先生を講師に迎えて行われました。



先生のお話に興味津々

参加したくなる活動

◆第3分科会 小学校
3グループに分かれて各校のPTA活動の現状について、情報や意見の交換をしました。

◆第4分科会 中学校
各校の取り組みについて、話し合いが行われました。各種委員会を置かず、学年委員の中で分担して活動を行ったり、委員以外にサポート隊を置いている学校などがありました。

◆第2分科会 中学校
各校のイベントの中で、地域の方が講師になり、万華鏡作り・そば打ちなどではないでしょうか。まずは自分から、小さくても些細なことでも、できることから始めてみましょう。

みんなの力が大きな力に

広報技術講習会に218名が参加

「広報の広を耕に置き換えて、自分の心を耕すための広報紙を作る一年にしてほしい」と話されました。そのお言葉が心に残る素晴らしい講習会でした。

参加者の声

「今までの広報紙のイメージが変わりました。早く作ってみたいですね」「4回目です。毎回新しい事を学んでいます」

伝えようSOS

いじめを考える児童生徒委員会

市内小・中学校の児童生徒で構成される「いじめを考える児童生徒委員会」の第2回(全4回)が、平成28年6月5日(日)秦野市役所教育庁舎で開催されました。

今年度のスローガンは「笑心(えみ)~いつも笑顔で感謝の気持ち~」です。いつも笑顔で感謝の気持ちを持つ、という当たり前の事をスローガンにさせて頂きました。そんな当たり前のことを今一度見直し、まずは自

インターネットやSNSの問題もやはり、顔と顔を向き合わせないことが要因となり生じているのではと考えています。

子どもたちや地域のみならず、笑顔と感謝が連鎖していくように、子どもたちが豊かな感性を持ち、未来に対して夢や希望を笑顔で語り合える環境をつくれるように、1年間ともに活動していきましよう。



市P連会長 栗原 蒼紀

笑顔あふれる活動をめざして

【お知らせ】第7回親子川柳大会 作品募集期間 7月15日~9月2日 問い合わせ先 秦野市教育委員会生涯学習課 (84) 2792

情報委員会  
No. 9  
だより

# 大地震その時に備えて

いつ起こるかわからない大地震に、不安を感じる方も多いのではないのでしょうか  
大地震の時、慌てずに行動できるようにあらためて考えてみましょう

## 引き取り訓練

災害時を想定して

さわやかな風を感じる6月1日(水)市内小・中学校で、災害時引き取り訓練が行われました。みなさんは参加されましたでしょうか。

### 各校の訓練

訓練の仕方は学校ごとに決められています。引き取る順番は、兄弟がいる場合、学年が上の子どもからと決まったり、保護者の判断に任されていたり、中学生が小学校に移動して引き取る学校もあります。訓練と災害時で違うやり方で引き取る学校もあれば、避難ルートがしっかりと決められている学校もあります。



落ちついて対応を

「中学生になると、保護者と一緒に帰らない生徒もいるので、通学路の確認ができない」「実際と同じように訓練できるので、いざという時にどう行動すればいいのかよくわかる」  
参加者の声  
「先生がクラスの書かれたゼッケンをつけています」

## こんな時どうする？ 親子で考えようQ&A

- Q：登下校中に大地震が起きたら？  
A：壁やブロック塀から離れてしゃがむ  
・ランドセルやカバンで頭を守ることができます
- Q：揺れがおさまったら向かう場所は？  
A：学校や家の近いほう、または安全な場所へ  
・ご家族で避難場所の確認をしておきましょう
- Q：家に帰って誰もいなかったら？  
A：家族で決めた人のところへ行く  
・あらかじめ頼れる人を決めておくといいですね
- Q：家族に連絡したいのに電話がつかない時は？  
A：伝言ダイヤルを利用する

### ◆使い方◆

- ①「171」をダイヤル
  - ②録音「1」再生「2」をダイヤル
  - ③自宅の電話番号
  - ④音声案内に従ってメッセージを聞く・吹き込む
- ※ 携帯・固定・公衆電話どれでも使用できます  
※ 毎月1日、15日に体験できます

- Q：携帯電話・固定電話、両方使えない時は？  
A：公衆電話が使える

- ・停電時でも公衆電話は使えます
- ・公衆電話の使い方を知らないお子さんもあるので使い方や設置場所の確認もしておくといいですね

連絡手段などが全く使えなくなることを想定して  
ご家族でよく話し合っておきましょう

カバンにすっぽり  
便利な防災グッズ

- ・バンダナ(タオル)
- ・軍手
- ・テレホンカード
- ・小銭
- ・ホイッスル
- ・連絡先
- ・マスク など

## こんな取り組み

【A校】登下校中に地震が起きた場合を想定した訓練も行っている。地震の際にとる行動についてまとめた紙を、必ずランドセルに入れるように指導している。

【B校】地震発生後、慌てずに地域と協力できるように、炊き出しの訓練を実施している。

【C校】帰宅困難時には常に学校に待機する体制がとれるよう、先生方は

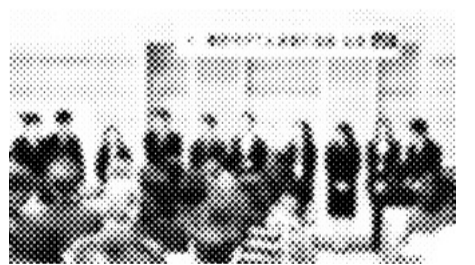
【D校】自治会や近隣の大学などと連携し、防災の研修会に生徒の代表が参加している。そこで中学生は何ができるかを考え、発表している。

学校によって、立地や通学範囲も異なります。直接学校に問い合わせるのもよいですね。いざという時に落ちついて行動できるように、子どもだけでなく、大人も日頃から考えて訓練しておくことが大切です。

平成27年度決算総会が4月9日(土)本町公民館で行われました。

市内小・中学22校のPTA会長、情報委員、学校長が出席し事業・決算報告を受け、新年度役員が承認されました。

## 市P連 決算・予算総会終わる



やる気みなぎる市P連役員

また、平成27年度市P連広報紙コンクールの表彰が行われ、その功績をたたえました。

その後、平成28年度予算総会が行われました。栗原新会長がスローガン「笑顔(えみ) いつも笑顔で感謝の気持ち」を発表

## 夏休みを有意義に

親子での時間が増えるこの時期を、ご家族でよく話し合う機会にしてみたい時もあるのでは、それを少しは聞いてあげた方がよいと言われる「追いつめな声かけが大切ですよ」と強調されました。今は便利すぎる世の中

### 追いつめない声かけ

もがなかなか勉強を始めたことありませんか。そんな時、親の声かけにもつい熱が入ってしまいませんか。「親御さんの熱心さが裏目に出ています、結果的にやる気おきないスイッチを押してしまっていることもあるんです」と指摘されました。続けて、子どもには言い訳し

### ぜひ体験を

であることに注意を向けられ「インターネットなどで情報を仕入れて満足しないで、実際に体験してみよう」と熱意を込めて話されました。さらに、体験により生じるハプニングを乗り越えてこそ学ぶこともある、と語られました。

また五感で感じたり、感性を育むことのできる体験を、積極的に行うよ

## 平成27年度広報委員の皆様 受賞おめでとうございます

- 神奈川県PTA広報紙コンクール  
【優秀賞】 渋沢中
- 秦野市PTA広報紙コンクール  
【優秀賞】 渋沢中「ふれあいの丘」
- 【金賞】 西小「西のいぶき」
- 【銀賞】 本町小「ほんちようの森」
- 【銅賞】 西中「西中PTA陽光」
- 大根小「おおね」
- 【奨励賞】 東小「せんだん」
- 東中「ぎんなん」
- 【奨励賞】 北小「稜線」
- 【奨励賞】 本町中「丹沢の風」
- 末広小「くず葉」
- 【奨励賞】 北中「北中PTAだより」
- 南が丘中「南が丘」
- 鶴巻中「まいづる」
- 大根中「大根中PTA」
- 【奨励賞】 北小「稜線」
- 【奨励賞】 東小「せんだん」
- 東中「ぎんなん」

## ★編集後記★

熊本の地震により被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、被災地の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。今回新聞を発行するにあたり、地震についてあらためて考え、学んだ事を記事にして伝える作業に四苦八苦しました。その中で、みんなで集まり話し合い、だんだん新聞になっていくのは、充実感もあり楽しい時間でした。地震は決して人ごとではありません。私達の記事を読んで、少しでも災害について家族で話し合うきっかけになれば、と願います。

【編集委員】 □□□□ (本町中) □□□□ (渋沢中) □□□□ (東小) □□□□ (堀川小) □□□□ (大根中) □□□□ (鶴巻小)